仕様書番号：第　　７４　　号
作成年月日：令和８年９月３０日

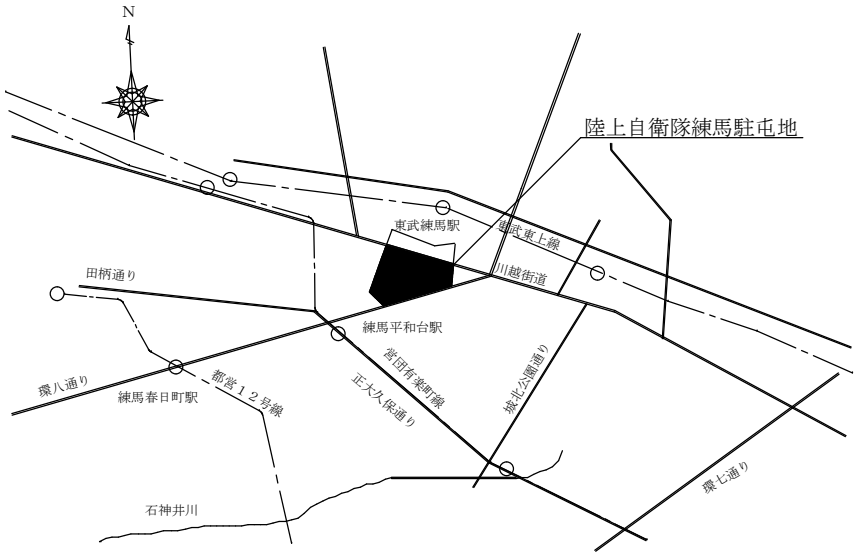
駐屯地高架塔水槽改修工事

担当部隊	工事名称	図面名称	縮　尺	図面番号
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	駐屯地高架塔水槽改修工事	表　紙	－	1/6

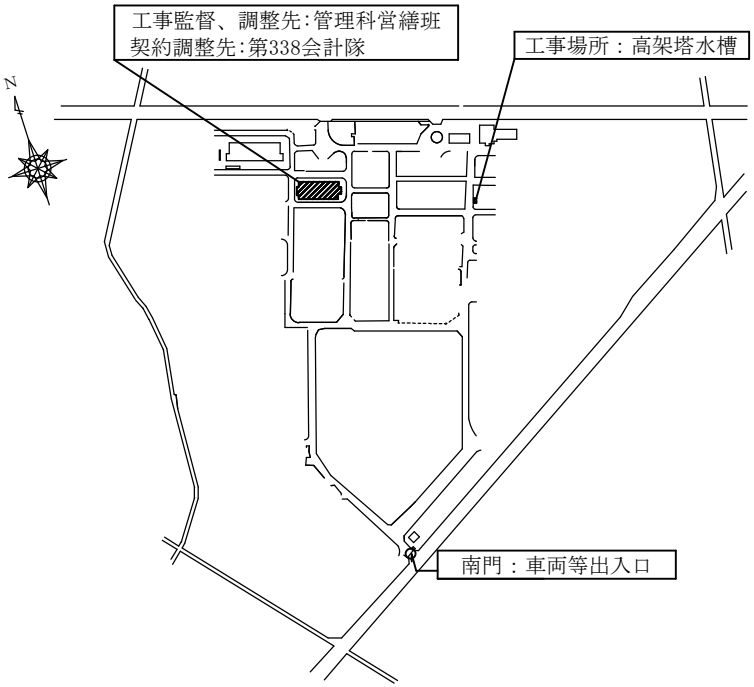
仕　様　書

1　工事件名：駐屯地高架塔水槽改修工事
2　工事場所：東京都練馬区北町４丁目１－１
3　工事概要：高架塔水槽内塗装　一式
　　梯子中間踏台補強　３箇所
　　揚水管、溢水管及び排水管撤去・新設　一式
4　履行期限：令和９年３月３１日（水）
5　一般事項
(1)　本工事は、本仕様書によるほか、下記の技術基準（最終改定）及び関係法規を準拠する。
・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
・ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
・ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
・ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
・ 建築保全業務共通仕様書
(2)　仕様書と業務内容に相違ある場合、仕様書に明記なき場合又は仕様書に疑いを生じた場合は、契約担当官・監督官と協議し、その指示に従い行うものとする。
(3)　現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関係法令を遵守して行うものとする。
(4)　工事に先立ち監督官と協議の上、実施工程表を作成し提出する。
(5)　図面・材料等の見本は、必要に応じ監督官に提出し、承認を得るものとする。
(6)　工事写真は、作業前・作業中・作業後・材料搬入時及び作業後において隠蔽部となる箇所を必ず撮影するほか、その他監督官の指示する箇所を撮影し、整理の上提出するものとする。
(7)　工事に必要な電気・水道等は受注者の負担とする。
(8)　現場で火気を使用する場合は、監督官に申告した後必要な手続きを行い、許可された後に使用する。（各種溶接作業を含む。）
(9)　施設に損傷を与えた場合は延滞なく監督官に報告すると共に、官側指示の記載事項を備えた報告書を提出、じ後は官側の指示に基づき受注者の責任において原状回復する。
(10)　工事に関する提出書類・申請書等は、全て官側が示す規格・様式により作成し、速やかに監督官に提出する。
(11)　本工事は、工事竣工後１年間を補償期間（瑕疵期間）とする。その間に発生した不具合については、受注者の責任において速やかに対処する。
(12)　撤去品が発生した場合、金属類発生材は、関係書類提出後監督官が指示する場所に搬入するものとし、その他は全ての廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理するものとする。また、処理の結果は産業廃棄物管理票（Ａ、Ｂ２、Ｄ、Ｅ）の写しを提出するものとする。
(13)　本工事は、検査官による工事完了検査及び提出書類すべての合格もって工事完了とする。
6　特記事項
(1)　本仕様書記載の寸法については参考寸法とし必ず施工前に現地確認を実施すること。
(2)　本工事は、「給水装置工事主任技術者」の資格を有する者が施工するとともに、その資書の写しを監督官に提出すること。
(3)　本工事の作業員については、健康状態良好かつ検便を実施するとともに、その検便結果報告書を監督官に作業実施日の一週間前に提出すること。※施工完了日を含めて、６ヵ月以内に実施しているものは、その結果報告書を該当期間内に提出すること。
(4)　本工事の清掃及び消毒については、水槽内全施工完了後に実施すること。なお、清掃作業は、建築飲料水貯水槽清掃業の登録を行っている事業者とする。
(5)　本工事は、施工場所が高所であることから高架塔水槽上部に安全手摺等を設置するなど落下防止対策を必ず行い施工すること。
(6)　本工事に使用する材料の仕様については、図面番号[４／６、５／６、６／６]に記載の規格と同等又はそれ以上のものとする。また、施工に際して、当然必要となる材料についても請負者の負担において準備すること。
(7)　本工事内の各種継手類更新に伴い発生した保温工事については、請負業者の負担において実施すること。
(8)　梯子用中間踏台における補強塗装材料について同等品を使用する場合は、入札前に官側に承認を得ること。
(9)　高架塔水槽内塗装における下地処理については、ＲＢ種とし、高圧洗浄機を用いて行うこと。
(10)　梯子用中間踏台補強塗装における下地処理については、ＲＣ種とする。
(11)　新設するＭＨは取り付け完了後に、既存外装塗料と互換性のある塗料を使用し塗装すること。
(12)　本工事の簡易水質検査（１１項目）及び残留塩素濃度測定については、注水完了後に、その都度実施するとともに、その結果報告書を監督官へ提出すること。なお、採水場所については、監督官が指定する場所とし、２検体採取すること。
(13)　配管工事完了後、監督官立会のもと、通水確認を行い水漏れ等がないことを確認すること。

担当部隊	工事名称	図面名称	縮　尺	図面番号
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	駐屯地高架塔水槽改修工事	仕様書、案内図、配置図	図示	2/6

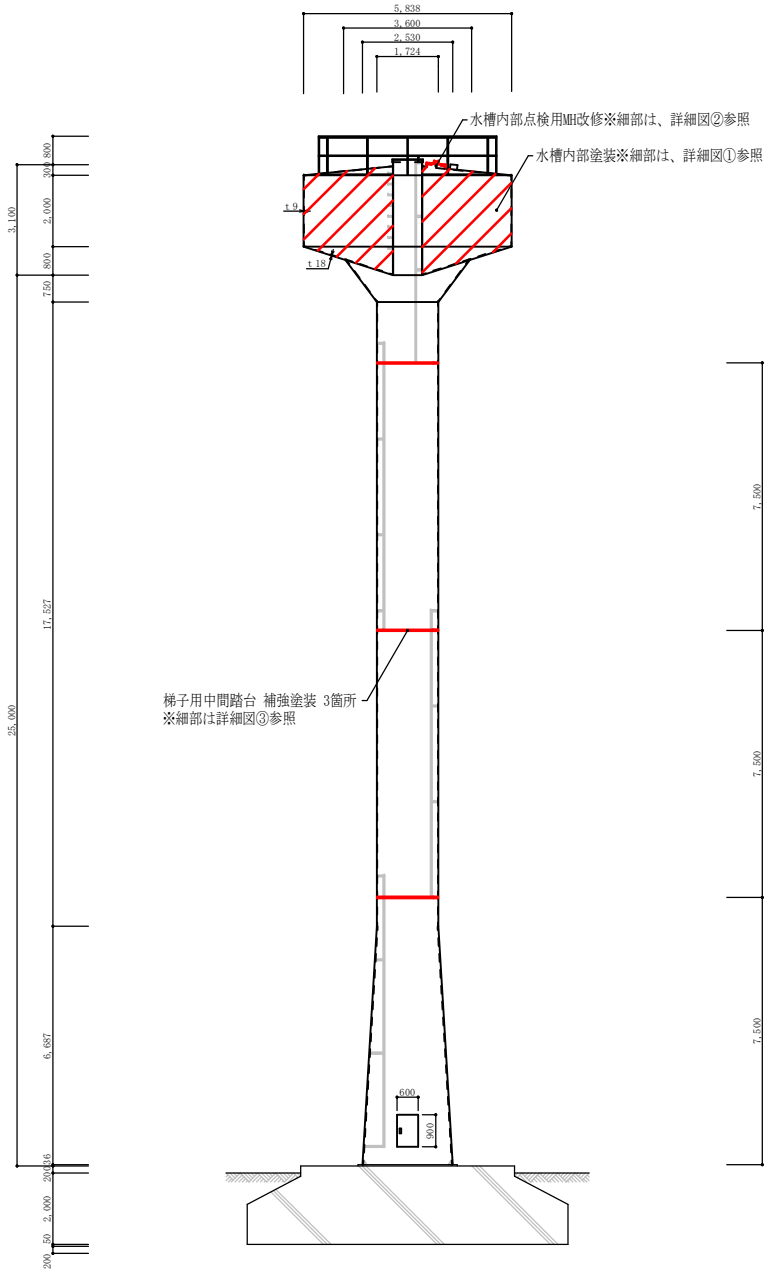


案内図 S=1/Not



配置図 S=1/Not

担当部隊	工事名称	図面名称	縮　尺	図面番号
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	駐屯地高架塔水槽改修工事	案内図・配置図	図示	3/6

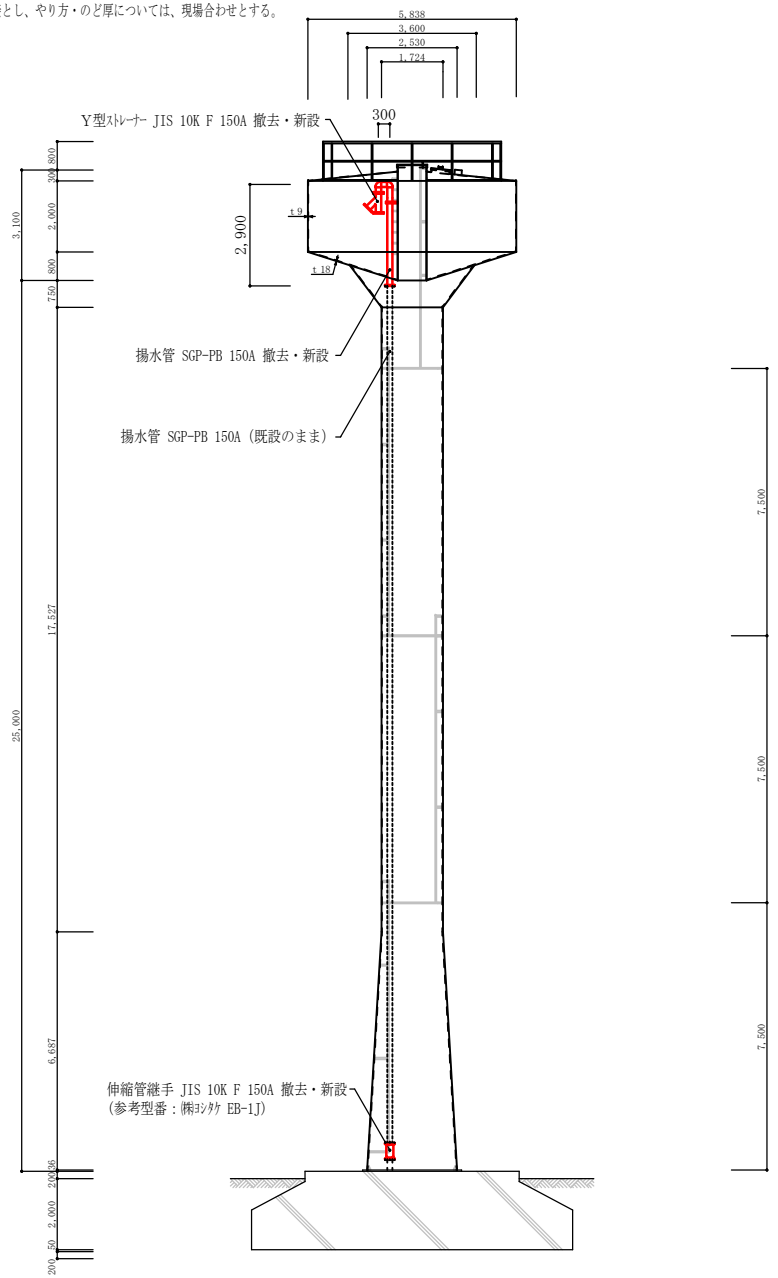


高架塔水槽立面図 S=1/150

【凡例】

----------	工事対象外
――――	工事対象範囲（赤色）を示す。

※新設揚水管の水槽内貫通部は、溶接接合を行うこと。
なお、溶接種類は、TIG溶接とし、やり方・のど厚については、現場合わせとする。

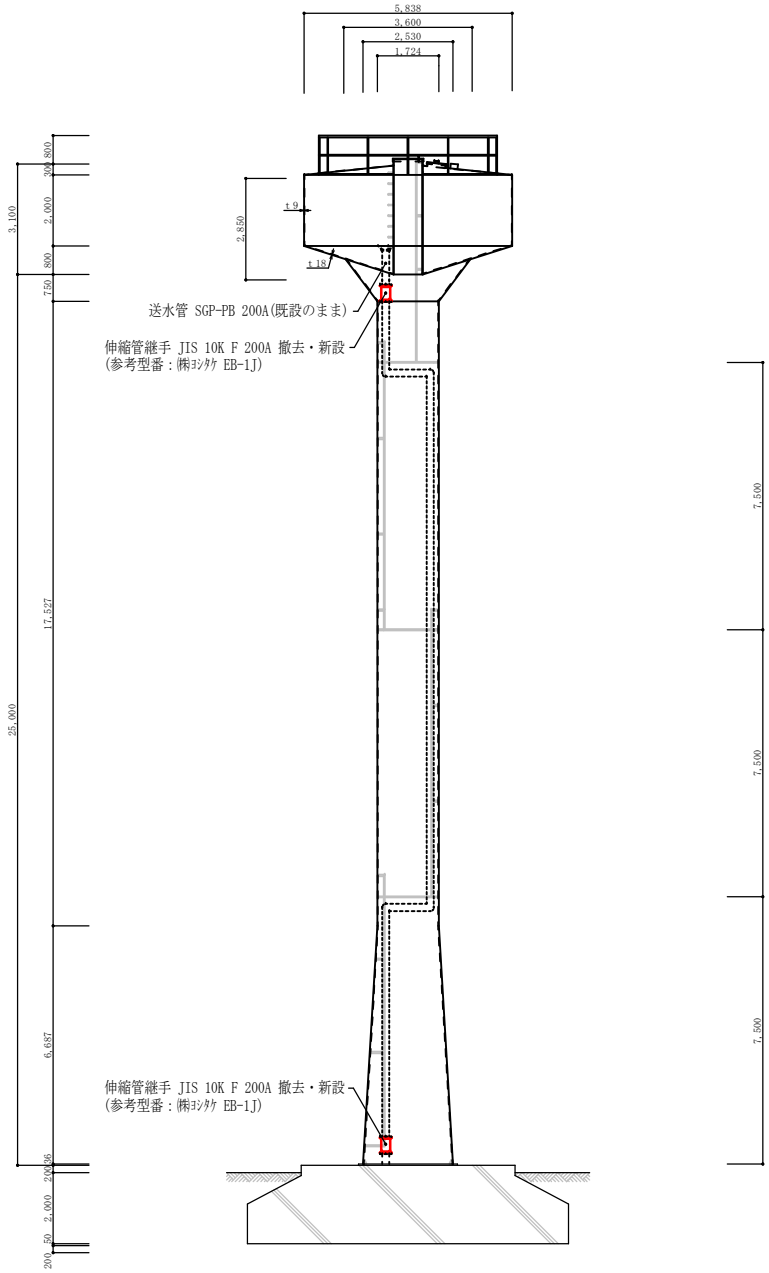


揚水管配管図 S=1/150

【凡例】

----------	工事対象外
――――	工事対象範囲（赤色）を示す。

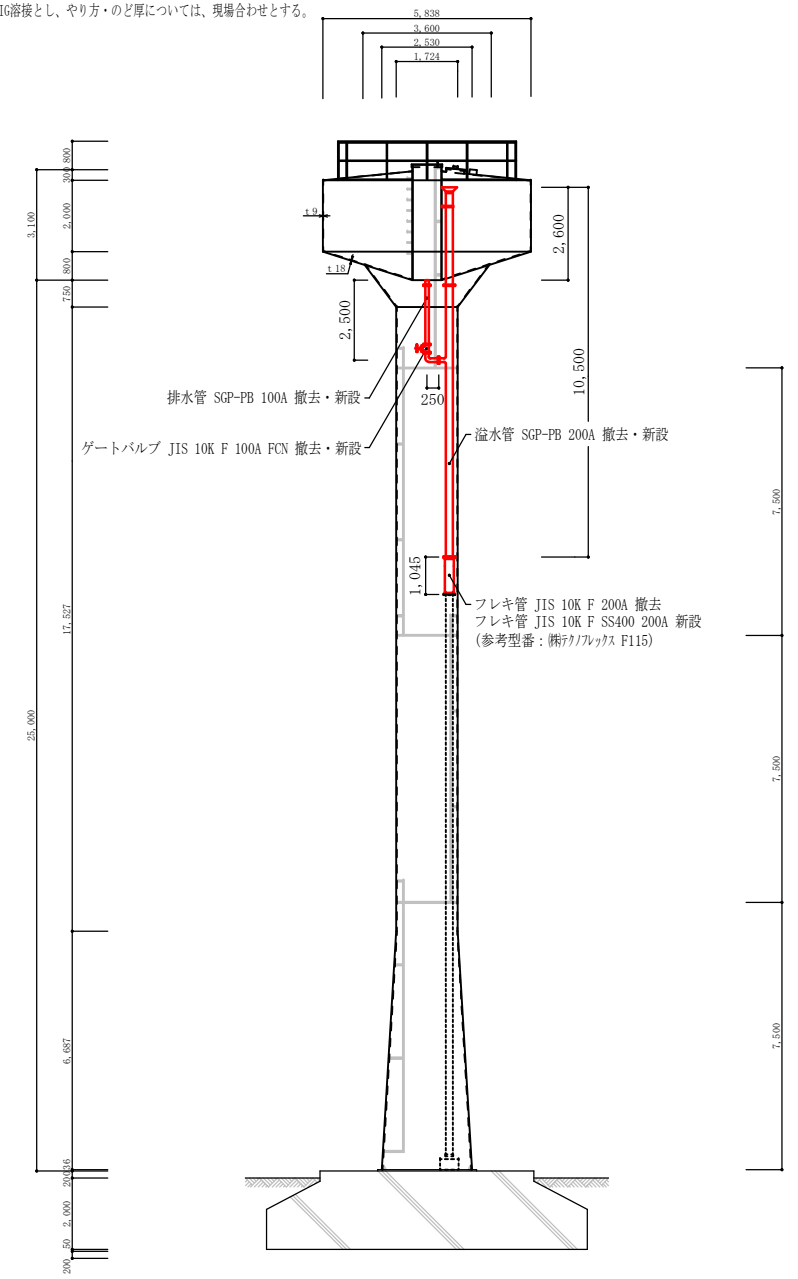
担当部隊	工事名称	図面名称	縮　尺	図面番号
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	駐屯地高架塔水槽改修工事	高架塔水槽立面図・各種配管図	図示	4/6



送水管配管図 S=1/150

【凡例】	
----------	工事対象外
――――	工事対象範囲（赤色）を示す。

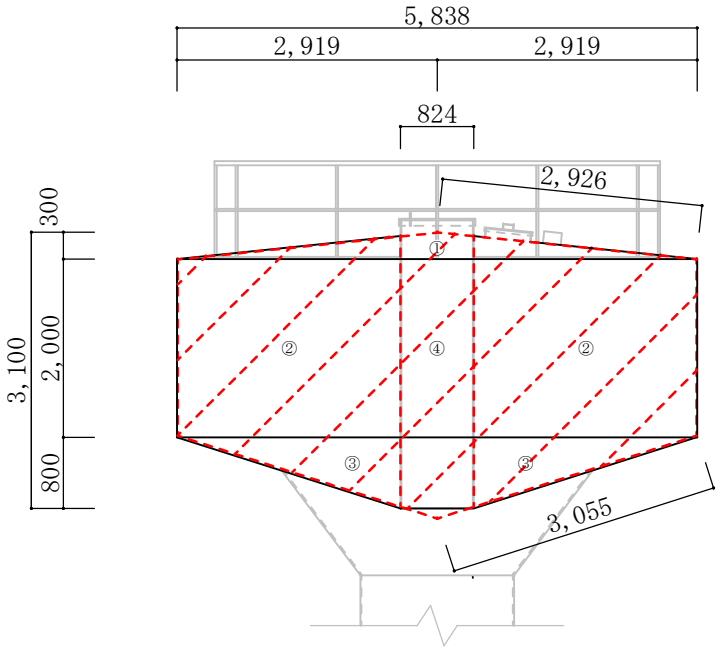
※新設溢水・排水管の水槽内貫通部は、溶接接合を行うこと。
なお、溶接種類は、TIG溶接とし、やり方・のど厚については、現場合わせとする。



溢水・排水管配管図 S=1/150

【凡例】	
----------	工事対象外
――――	工事対象範囲（赤色）を示す。

担当部隊	工事名称	図面名称	縮　尺	図面番号
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	駐屯地高架塔水槽改修工事	各種配管図	図示	5/6



詳細図① S=1/60

【凡例】

- - - - -	塗装範囲（赤色）を示す。

【塗装材料規格表】

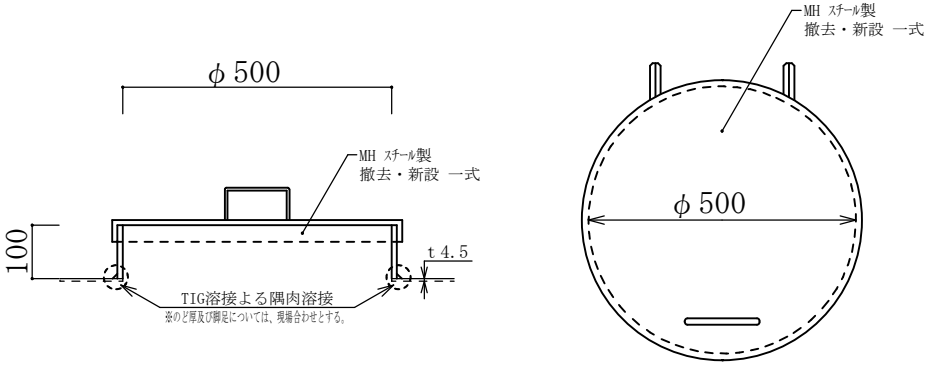
用途・工程	材　料　名	規　格　等（又は同等品以上のもの）
水槽内塗装（下地処理後、1回塗り）	水道用無溶形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料※	神東塗装（株）ﾁｮｲｽｺｰﾄ ﾗｲﾄﾌﾞﾙｰ（硬化剤含む）

【高架塔水槽内部塗装数量表】

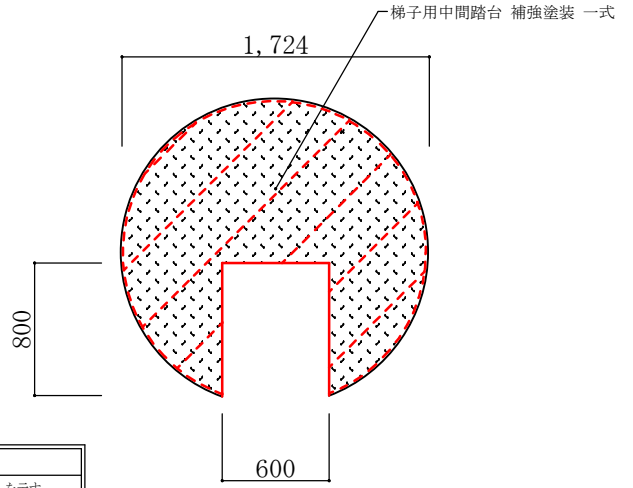
番号及び塗装箇所名	数 量 計 算	側面積(㎡)
①(水槽内部－上層面)	2.926*2.919*3.14＝	26.81
②(水槽内部－中間層面)	5.820*3.14*2.000＝	36.55
③(水槽内部－下層面)	3.055*2.919*3.14＝	28.00
④(水槽内部－梯子通路外面)	0.824*3.14*3.100＝	7.52

【　〃　配管塗装数量表】

塗装配管名称・規格	数 量 計 算	長さ(m)
送水管 SGP-PB 200A	0.800	0.80
揚水管 SGP-PB 150A	2.900+0.300＝	3.20
溢水管 SGP-PB 200A	2.600	2.60



詳細図② S=1/10



詳細図③ S=1/30

【凡例】

- - - - -	塗装範囲（赤色）を示す。

【塗装材料規格表】

用途・工程	材　料　名	規　格　等（又は同等品以上のもの）
補強塗装（下地処理後、1回塗り）	塗布形素地調整軽減剤	大日本塗料（株）サビシャット
下塗り（1回塗り）	弱溶剤形・高遮断形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料	大日本塗料（株）タイエンダー下塗
上塗り（1回塗り）	弱溶剤形・厚膜形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂上塗塗料	大日本塗料（株）タイエンダー上塗U

【梯子用中間踏台補強塗装数量表】

数 量 計 算	面積(㎡)
((0.862*0.862*3.14)*2)*3箇所＝	14.00

担当部隊	工事名称	図面名称	縮　尺	図面番号
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	駐屯地高架塔水槽改修工事	各種詳細図	図示	6/6